

社会医療法人 製鉄記念室蘭病院

室蘭市知利別町1丁目45 TEL0143-44-4650

ロボット支援手術など先進的で
質の高い医療を提供する急性期病院

製鉄記念室蘭病院は、高度急性期・急性期医療における西胆振の中核病院として、救急医療やがん診療、小児・周産期医療などの各分野で地域医療を支えている。

病床数347床、診療科27科、常勤医師数97名の総合病院で、大学病院に準ずる高度な医療を効率的に提供する急性期病院として、DPC特定病院（道内4病院）に指定されている。救急車は年間約3500台、救急外来患者は年間約1万人と地域最多の救急症例を受け入れている。

2014年には、「がん診療センター」を開設し、手術のみならず化学療法（外来化学療法センター25床）、放射線治療など総合的な「がん診療」を先進的に行っている。また、ロボット支援（ダヴィンチ）手術を2019年に胆振で初

めて導入、同手術数は肺がん、前立腺がん、大腸がんなど累計1000例を超えており、道内でも有数の実施施設となっている。

2025年には、手術室と心・血管エックス線撮影装置を一つに組み合わせた高機能手術室（ハイブリッド手術室）が新設され、合併症などでリスクの高い患者さんにおいても、より低侵襲な治療の選択肢を提供できるようになる。

◆◆ 病院長紹介 ◆◆



病院長 前田 征 洋

札幌医科大学卒。03年新日鉄室蘭総合病院（当時）消化器・血液内科科長、07年副院長。15年から現職。札幌市出身。

小児・周産期医療に關しても2024年の地域での集約化・重点化に伴い、LDR室（陣痛・分娩・回復までを一つの部屋で行う）を計3室に増室し、地域の分娩を中心に担っている。

前田征洋病院長は「質の高い真の急性期病院をめざして、引き続き診療体制を強化し、今後地域の中核病院としての役割を果たしていく」と話す。



社会医療法人母恋 日鋼記念病院

室蘭市新富町1丁目5・13 TEL0143-24-1331

内科から専門診療科へ紹介 独自のワンストップ体制

「医療人として組織として社会に貢献する」を使命として、1911年に創立、26の診療科を設置している。患者が気兼ねなく来院・相談することで病気を発見し、適切な専門医療を提供。高齢化が進む時代の地域ニーズに応えながら「ほ」としてもらえる病院を目指す。

初診時に紹介状が必要である場合も多いが、紹介状を持たない患者を受け入れ、一つの病院で診療が完結できる「ワンストップ診療」の体制を整えている。速やかに院内の専門的な診療科へ紹介し、治療を開始することが可能だ。

消化器センター長の横山和典医師は「開かれた総合病院として、多くの方に利用してほしい」と呼びかける。

◆◆ 病院長紹介 ◆◆



院長 高橋 弘 昌

79年北海道大医学部卒。日本外科学会、日本乳癌(がん)学会、日本内分泌外科学会所属。日本外科学会専門医、日本乳癌学会名誉専門医、日本内分泌外科学会名誉専門医、認知症サポート医。札幌市出身。



LINE相談好評な産婦人科 小児科の午後外来も開始

産婦人科は、昨年10月に常勤医として小原幹隆医師が産婦人科長として着任した。「妊婦や婦人科の患者はさまざまな悩みを抱えている。そういった声に耳を傾けることで、みなさんに安心して通院してほしい」と話し、通信アプリのLINEを活用した相談受付を始めた。直接小原医師に問い合わせができ、利用者からの評判も

上々だ。1月からは外来時間を拡大。一部の曜日では午後にも受診できる体制となった。

さらに小児科は、23年に午後外来をスタート。昨年からは室蘭市内で長く診療を担ってきた小児科医が外来を担当する。小児医療の観点からも、地域のニーズに合わせ、患者の受診への敷居を下げた診療体制が展開されている。



市立室蘭総合病院

室蘭市山手町3丁目8・1 TEL0143-25-3111

救急救命医療の一翼担う
患者に寄り添い安心と満足を

市立室蘭総合病院は、主に西胆振地域で発生した高エネルギー外傷を受け入れている。ドクターカーやナースカーなども導入しており、救急救命医療の一翼を担っている。

「おもいやりの心がかような病院」を理念に、患者に寄り添い安心と満足を与えられる医療を心がけている。

泌尿器科に女性医師を配置したり、乳がん検診では医師のほか、検査

技師も女性が担当することで、安心して医療を受けられる態勢を構築している。

新井一・病院事業管理者は「医療を提供する上で、いかに安心感を持ってもらえるかが重要。困

り事がある場合にも積極的に声かけをして、常に温かい対応ができるように意識しています」と話す。

災害拠点病院の指定を受けており、日本DMAT隊員も所属。

◆◆◆ 病院事業管理者 ◆◆◆



病院事業管理者 新 井 一

札幌学院大卒。民間の医療機関で26年勤務した後、10年室蘭市キャリア採用。市立室蘭総合病院地域連携室係長、同院事務局長などを経て22年から現職。室蘭市出身。

昨年の元日に発生した能登半島地震でもいち早く現地向かった。定期的に訓練も行っており、「病院自体が強くなることで、地域全体にも波及することができ」と強調。

市民向けのくじらん健康教室も開催している。公共施設などを活用して定期的に開催しているほか、体操などを動画で発信して健康な体づくりをサポートしている。

医療法人社団 上田病院

室蘭市東町2丁目24・6 TEL0143-44-3690



グループホーム ゆうゆう



グループホーム たんとん



グループホーム あいあい



上田病院

1人1人に最良の医療を目指し、
グループホーム運営にも力を注ぐ

上田病院は医師、看護師をはじめ職員全員で1人ひとりの患者の個性に合わせた医療と療養を提供できるように取り組み、他の医療機関や各種施設と密に連携を図りながら、患者を支えている。

外来では患者とのコミュニケーションを大切に病状や検査所見に応じて近隣医療機関と連携・協力し、丁寧な診療を提供。各種予防接種、入職検診や塵肺検査等の健康診断も行っている。

入院についても本館と新館に各60床備え、患者の長期療養が安全で気持ちの良いものとなるように全スタッフが支援。入院病棟では新型コロナウイルス感染症蔓延後から、患者と家族の絆を大切にし面会制限をいち早く無くした。寝たきりで身体が自由に動かせない患者の外出支援も数多く実施し、自宅への外出希望者には、家族と一緒に過ごす時間を楽しんでもら

えるよう取り組んでいる。

同病院では医療教育・訓練研修を終了し、医師の医療行為を行うことができる特定看護師制度をいち早く取り入れ、胆振管内で唯一の研修臨床実習施設として特定看護師を輩出している。

また、グループホーム運営にも力を注いでおり、「グループホームゆうゆう」（室蘭市日の出町2・27）、「グループホームたんとん」（同町2・26）、「グループホーム

あいあい」（登別市美園町4・23・9）の3グループホームを運営。高齢認知症の人を対象として、少人数で共同生活を送ることができる温かいホームとなっている。

介護や看護の専門知識と技術を持つスタッフが「本人のできることを活かし自分らしく生きがいを持てる生活」を支援。日々の暮らしや会話なども大切にして、安全で安心な生活を見守っている。

◆◆ 理事長・院長紹介 ◆◆



理事長・院長 上田 哲史

先代より引継ぎ95年3月に医療法人社団上田病院理事長院長に就任し現在に至る。「いい人生だった。いい町に生きた。と住民の皆さんに言ってもらえるよう、地元を支えていきます」と日々病院やグループホームの運営に尽力している。87年日本医科大卒。室蘭市出身。



医療法人社団 医修会 大川原脳神経外科病院

室蘭市寿町1丁目10・1 TEL0143-44-1519

医師のスキル向上、最新機器導入 室蘭でハイレベルな医療提供

指導医2人、専門医4人が所属する大川原脳神経外科病院は、札幌圏の医療機関にも引けを取らない医療体制を構築。昨年手術症例は298件で、医師の執刀スキル向上に加え、最新機器導入により、ハイレベルな医療を提供している。

新たに導入した外視鏡システムでは、3Dでの撮影により、患者への負担が少ない低侵襲な外科手術が可能。リハビリ機器のドライブシミュレータでは、運転に必要な

なハンドルやペダルの操作性などを評価できる。病棟では、バイタルデータを電子カルテへ自動転送できる装置に加えて、呼吸数や心拍数を把握できるベッドも取り入れた。

運営法人・医修会の大川原淳理事長は「札幌圏に出向かなくても、室蘭でしっかりと医療を受けられることを目指している。適切な手術で患者を自宅に戻すことができる社会をつくる」と強調する。

◆◆◆ 理事長紹介 ◆◆◆



理事長 大川原 淳

札幌医科大卒。国立病院機構北海道医療センターなどを経て11年大川原脳神経外科病院。12年医修会理事長。室蘭市出身。



ふじかね内科医院

室蘭市輪西町1丁目10・3 TEL0143-44-5072

患者が話しやすい雰囲気つくる 訪問診療も幅広く展開

内科や循環器科、神経内科を標榜するふじかね内科医院では、患者が緊張しないよう話しやすい雰囲気づくりを重要視している。ゆつくりとした口調で話すことで、患者が病態をしっかりと把握できるよう、分かりやすい説明を心がけている。

高血圧や高脂血症などの生活習慣病に加えて、上気道炎などの急性発熱症疾患、頭痛やめまいなど神経内科疾患を主に診療し

ている。風邪や腹痛といった症状を訴えるケースもあり、長く通院している患者は、雰囲気や表情から、いつもの違いを察することができるよう心がけている。

訪問診療も室蘭の中央地区から登別市内へと幅広く展開している。定期的に患者宅へと訪問しており、安心して在宅医療を受けられる環境をつくっており、終末期を自宅で生活したい場合にもサポートしている。

◆◆◆ 院長紹介 ◆◆◆



院長 藤 兼 正 明

獨協医科大卒。栃木県内の医療機関などでの勤務を経て、99年から父親が開設したふじかね内科医院で勤務。室蘭市出身。



◆◆◆ 理事長紹介 ◆◆◆



理事長 野尻 秀一

82年札幌医科大学卒。札幌医科大学大内科学第四講座入局。新日鐵室蘭総合病院初代消化器内科医、同病院消化器内科科長、同病院血液内科科長兼任、を経て現職。前室蘭市医師会会長。美瑛町出身。

医療法人社団 秀に会 野尻内科消化器科クリニック

室蘭市宮の森町4丁目12・18 Tel.0143-41-1551

患者の「健康創造パートナー」
明るく笑顔で対応、気軽に来院を

野尻内科消化器科クリニックは地域に密着した医療を目的として、内科・消化器科を中心に、がん検診や特定健診など、皆さまの健康寿命の延伸に寄与すべく診療を行っている。

より、より高い精密診断が可能となっている。

風邪や腹痛などの日常的な急性疾患から、高血圧、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病、さらに専門性の高い消化器疾患などにも対応している。

患者がリラックスし、安心して受けられる医療サービス体制を目標にして、病気や症状の説明はなるべく解りやすく解説し、できるだけ身体への負担をかけない医療を目指している。

特に消化器内視鏡には力を入れており、最新の内視鏡（A-1搭載）を完備。微細な病変も見逃さない精度の高い画像に

野尻院長は「かかりつけ医として患者さまの『健康創造パートナー』になって、気軽に来院していただくこと、明るく笑顔で対応することをスタッフ一同目指している」と話している。

はざま小児科クリニック

室蘭市宮の森町4丁目12・18 Tel.0143-41-0088



◆◆◆ 院長紹介 ◆◆◆



院長 間 峽 介

北海道大医学部卒。国立札幌病院や釧路日赤病院、北海道大学付属病院小児心臓グループなどを経て、03年はざま小児科クリニック開業。日本小児科学会専門医。東京都生まれ。

ウェブ問診で迅速な診察
導線確保で感染リスク抑える

はざま小児科クリニック

は、アプリを用いたウェブ問診を導入している。症状の発生時間や体温、解熱剤の使用の有無、処方される薬の形状などを手軽に入力できる。間峽院長は「事前に情報を把握することで、迅速な診察と待ち時間の短縮につながります」と話す。

院内の床は一般診察、予防接種で進むルートが色分けされているが、実は10年ほど前から取り入れて

いる内容だ。一般的な風邪の症状を訴える患者とワクチン接種希望者の導線を別にすることで、感染リスクを抑えている。

間院長は「先立って行ってきた取り組みが、昨今の感染症予防対策につながっている」と力を込める。

生後6カ月からの検査が可能な弱視・聴覚検査機器や心臓超音波（エコー）検査機器も導入。子どもたちの健やかな成長をサポートしている。



下地内科クリニック

室蘭市港北町1丁目11・4 TEL0143-55-7187

皆さまのより良い健康生活を
サポート

下地内科クリニックは皆さまのより良い健康生活をサポートできる医療を心がけている。急性期症状への状態を迅速に見極めて、良い医療を提供できるように心がけている。

内科全般と生活習慣病（糖尿病、高血圧、高脂血症など）、甲状腺疾病、消化器疾患を中心に胃内視鏡検査・大腸内視鏡検査、各種ワクチン接種へ対応している。最近では予約、問診、診察、決済の全てをオンライン

ンで完結できるシステムを導入。皆さまより好評だ。

機能性の高いエコー、AIによる胸部X線画像診断支援ソフトを導入。患者にとって負担の少ない最新の内視鏡や24時間心電図、血管伸展検査、睡眠時無呼吸検査、PCR装置なども設置。必要に応じ総合病院の専門医へ紹介している。

下地院長は「地域のかかりつけ医としてお気軽にご相談ください」と話している。

◆◆院長紹介◆◆



院長 下地 英樹

金沢医科大学卒。札幌医科大学附属病院第2内科、第1内科研修、札幌医科大学第1内科教室所属、帯広協会病院、市立釧路総合病院、町立別海病院、陸上自衛隊中標津駐屯部隊（嘱託医）、市立室蘭総合病院を経て、現職。日本内科学会認定内科専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本医師会認定産業医。日本内科学会、日本リウマチ学会、日本糖尿病学会、日本消化器病学会、日本内視鏡学会、日本超音波学会所属。室蘭市出身。

医療法人社団 神島整形外科

室蘭市東町2丁目22・6 TEL0143-44-0841

診察とリハビリテーション連携
膝の再生治療も取り入れ

診察とリハビリテーションの連携によるチーム医療を重要視。特にリハビリはニーズが高く、医療スタッフも勉強を重ねて、患者個々に寄り添った医療サービスの提供を心がけている。

リハビリでは、機能訓練や柔軟性確保といったバランスが求められる。導入しているウォーターベッドは好評で、神島博之院長は「痛みがない場合でも、診察を通して骨などの異常を察

知することが出来る。患者からのサインを見逃さないことが大事」と話す。

変形性膝関節症の治療として、PFCEIFD（膝の再生治療）を取り入れている。ヒアルロン酸注射と人工関節手術の中間に位置する治療法で、実際に処置が行われた患者の例として、以前より気軽にスポーツを楽しめる成果があるという。このほか、関節痛改善の効果が期待されるサプリメントも取り扱っている。

◆◆院長紹介◆◆



院長 神島 博之

金沢医科大学卒。北海道大整形外科教室入局後、美唄労災病院や網走厚生病院などで勤務。03年から神島整形外科勤務。





まつもと脳神経外科クリニック

室蘭市宮の森町1丁目1・37 TEL0143-46-9001

**頭痛・めまいなどの相談や「脳ドック」
まで、脳の健康を守る医療に注力**

頭痛、めまいや手足のしびれ、もの忘れ、頭を打ったーなど脳にまつわる心配事を抱える人は多い。

まつもと脳神経外科クリニックは気軽に相談できる「脳のかかりつけ医」として、高度かつ丁寧な検査と診療を行っている。

脳の検査というと敷居が高く抵抗感を示しがちだが、同院では脳梗塞やくも膜下出血、認知症なども脳の病気全般について「日ごろからの検査・診断が大

切。身体 の健康診断と同様、脳の健康診断も積極的に受けて」と「脳ドック」利用を推し進めている。

脳梗塞、動脈瘤、認知症の診断に有効な超伝導MRIで、脳と血管の検査、認知症における脳の萎縮度を判定する検査と手足の血管年齢を測る検査も行う。松本行弘院長は「脳の健康を守るため、お役に立てるよう日々努めています」と話す。

◆◆ 院長紹介 ◆◆



院長 松本 行弘

旭川医科大学卒。卒業後、大川原脳神経外科にて30年間、脳外科医として救急医療、手術などに携わった後、14年に現クリニックを開院。伊達市出身。



医療法人社団 むろらん神経内科クリニック

室蘭市中島町1丁目28・18 メディカル中島Ⅱ2F TEL0143-41-5533

**専門はパーキンソン病や認知症
一人一人に寄り添い診療**

16年4月に、神経内科と内科を掲げるクリニックとして開業した、むろらん神経内科クリニックは、患者一人一人に寄り添った診療を心がけている。

専門領域はパーキンソン病（神経難病）や認知症（脳疾患）のほか、物忘れや片頭痛、めまい、しびれ、手足の震えなどの症状で相談を受け付けている。

神経内科・現・脳神経内科は、精神科や心療内科

と混同されることが多いが、脳・神経の疾患を内科的知識と技術で診療する。症状や経過を確認し、神経学的検査や診察で原因を調べることから、患者と家族からの聞き取りが重要となる。

患者が「どこの病院にかかったらよいかわからない」という場合でも、診察できるときがあるため、大塚千久美院長は「ぜひ一度、相談してもらいたい」と話している。

◆◆ 院長紹介 ◆◆



院長 大塚 千久美

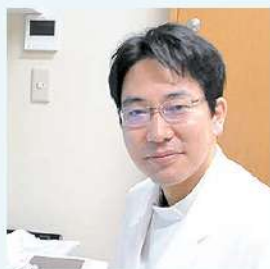
北海道大薬学部卒、岩手医科大学医学部卒、同大学院修了（医学博士）。日本神経学会認定神経内科専門医・指導医、日本内科学会認定医。室蘭市出身。

本輪西ファミリークリニック

室蘭市港北町1丁目6・3 Tel.0143-55-1212



◆◆院長紹介◆◆



院長 佐藤 弘太郎

横浜市立大医学部卒。日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医・指導医。日本医師会認定産業医。認知症サポート医。仙台市生まれ横浜市育ち。

23年7月に移転オープンした本輪西ファミリークリニックは、いつでも安心して診察を受けることができる身近な診療所として、笑顔と思いやりとともに質の高い医療を提供している。

専門領域として、外来、入院に続き「第3の医療」と呼ばれる訪問診療を行っている。医師6人が看護師と2人一組で患者宅に出向き、定期訪問診療のほか、24時間体制で往診にも対応している。

末期がん患者が愛着ある

**家庭医療を提供するかかりつけ医
外来診療と24時間体制で訪問診療を実施**

自宅で、残された時間を家族とともに過ごすことも、在宅医療の一つにある。

総合診療も掲げており、ちょっとした体の異変や受診する科が分からない場合に気軽に相談できる。佐藤弘太郎院長は「まちのかかりつけ医として、利用してもらいたい。例えば子どもの予防接種と同時に親の診療をしたり、産後ケアとともに母親のメンタルケアもできます。受診の際は予約制となっているため、まずはお電話ください」と話す。

若草ファミリークリニック

登別市若草町4丁目24・1 Tel.0143-86-5180



◆◆院長紹介◆◆



院長 安達 記広

聖マリアンナ医科大学医学部卒。同大横浜市西部病院を経て、北海道家庭医療学センター勤務。17年更別村国民健康保険診療所副所長、19年より現職。日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医・指導医ほか。札幌市出身。

経営理念は「なんでも相談できる親切なクリニック」「とりあえず若草」と患者さんに思ってもらえること。

若草町に根を張り、予防医学から病気の医療、終末期ケアまで対応した家庭医療を実践している。

年齢に関係なく、診療科を問わず幅広く診療。内科、小児科はもちろん、腰痛などの整形外科疾患、簡単な皮膚や鼻水、めまいなどの症状、不眠症や心の悩みと、何でも相談に乗っている。

**地域の皆様との信頼関係を大切に
共に最善の医療を目指します**

室蘭市の総合病院と連携し、緊急時の搬送のほか、患者と相談の上、必要に応じて紹介を行う。地域包括支援センター、訪問看護、スクールカウンセラーなどとも連携している。外来通院が難しい人には訪問診療で対応。室蘭市の本輪西ファミリークリニックを拠点に24時間365日対応している。

安達記広院長は「地域とも協力して、安心して何でも相談できるクリニックにしていきたい」と話している。

医療法人 登別すずらん病院

登別市青葉町34番地9 TEL0143-85-1000



柳川利正院長

志田勇人理事長

1人1人に最良の医療を目指し、
リハビリ、在宅介護にも力を注ぐ

1978年4月の開院以来、地域住民の「安心・信頼・満足」を目指し、日々研さんしている。外来、入院、介護とシームレスな連携を図り、慢性期医療から在宅・介護への移行も視野に入れたサービスを提供。生活期リハビリテーションにも取り組んでいる。

「『医は仁術なり』と呼ばれていて、医療は人対人で根幹にあるのは人々を思いやる心、優しい気持ちではないか」と志田勇人理事長は語る。患者の気持ちに寄り添う、優しい医療を志している。

病院の理念は①患者さま・ご家族の人格・立場を尊重し心のこもった医療とケアを実践②患者さまのもっている能力を最大限にいかし、自立を支援③地域住民の健康・保健・福祉に貢献。

標榜診療科目は内科、消化器内科、リハビリテーション科。専門外来と

して肝臓専門外来、リハビリ専門外来、もの忘れ外来、発熱外来、不眠・いびきサポート外来を設置している。

月曜日・金曜日の一般外来と、完全予約制の専門外来、訪問診療のほか、保健予防活動として健康診断・予防接種にも対応している。

130床の療養病床があり、慢性期の医療を必要とする患者を受け入れるとともに、生活期リハビリテーションも実施

している。

訪問リハビリテーション、訪問看護ステーション、居宅介護支援事務所を併設。在宅での介護サービスを提供する。

市内の学校医を務め、外国人労働者の健診も受け付ける。地域を支える医療機関」となっている。

柳川利正院長は「当院が地域の皆さまに支えられてきたことへの感謝を忘れず、なお一層努力していきたい」と抱負を語る。

◆◆◆ 理事長紹介 ◆◆◆



理事長 志田 勇人

帝京大医学部卒。同大医学部付属病院勤務を経て、手稲区仁会病院消化器病センター、16年より札幌ライラック病院理事長、登別すずらん病院理事長。札幌市出身。



日本赤十字社 伊達赤十字病院

伊達市末永町81番地 TEL0142-23-221

胆振西部で幅広く医療提供 広域的な医療連携で地域医療の強化へ

「赤十字のここを基に、地域の皆様に信頼される医療を届けたい」を理念に、胆振西部エリアの中核となる医療機関として、急性期から在宅復帰まで幅広い治療に対応。急性期医療では黒松内町など後志エリアも含め、高度急性期では近隣中核病院との連携で対応する。麻酔科のペインクリニック外来では、さまざまな痛みやしびれなどの原因を診断し、経験豊富な専門

医が治療を行っている。「糖尿病教室」や「がんサロン」など、市民向けの教室、出前講座などを積極的に開催しており、地域への医療知識の発信にも力を注ぐ。久居院長は「医療スタッフが連携したチーム医療の提供が強み。西胆振医療圏の中核病院、開業医との連携を一層強化し、地域医療の充実強化に努めたい」と力を込める。

◆◆院長紹介◆◆



院長 久居 弘 幸

札幌医科大学卒。専門は消化器内科。同大などで勤務し、97年、伊達赤十字病院消化器科勤務。24年4月、同院副院長から現職。日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本肝臓学会認定指導医。旭川市出身。

医療法人社団 倭会

伊達市松ヶ枝町245番地1 TEL0142-21-2000

やすらぎの場と ふれあいの医療を目指して

医療法人社団倭会が伊達市内で運営している精神科の病院・クリニック。作業療法士、心理士、精神保健福祉士などコメディカルも充実しており、あらゆる方面から診断・治療を行う。ミネルバ病院は1998年に開院。理念は「ロマンとモラル」。やすらぎの場の提供、ふれあいの医療の提供、ひろく開かれた医療の提供、職員一人ひとりが「誇りを持てる仕事」を追求する――を基本方針としている。

2021年に伊達市の市街地に開院した銀杏庵は、伊達開基とともにある「百年の樹」から名付けられた。「良寛の草庵のごとく、人のぬくもりと味わい感じられるクリニック」との想いが込められており、患者に尽くす医療を提供している。

ミネルバ病院



銀杏庵



ミネルバ病院

伊達市松ヶ枝町245番地1
TEL0142-21-2000

銀杏庵

伊達市大町20番地76
TEL0142-82-6671

小熊内科医院

伊達市山下町159番地7 Tel.0142-21-5566



◆◆院長紹介◆◆



院長 小熊 徹彦

東北大学医学部卒、東北大学大学院医学研究科博士課程修了。通産省工技院生命研博士研究員、筑波大応用生物化学系講師、水沢市立総合水沢病院内科医長を経て99年、小熊内科医院副院長。16年から院長。伊達市出身。

胃や大腸など、消化器疾患を中心に内科全般の診察を行う。体調が気になったり健康に不安があるときには、すぐに相談できる身近な「かかりつけ医」。患者と真摯に向き合い誠実な医療を心がけている。

器疾患など幅広く診察。健康診断や特定健診、禁煙外来、インフルエンザなど各種予防接種も受け付けている。胃炎を引き起こし、胃がんや胃潰瘍につながる恐れがあるピロリ菌については、ピロリ学会認定医が除菌を担当。2次除菌に失敗した場合の3次除菌、ペニシリンアレルギーへの対応など、患者の思いに寄り添いながら、確かな医療を提供している。

**患者に寄り添い不安を解消
誠実で身近な「かかりつけ医」**

なかむら整形外科クリニック

伊達市梅本町35番地43 Tel.0142-23-7692



◆◆院長紹介◆◆



院長 中村 夢志郎

北大整形外科に入局後、北大病院、製鉄記念室蘭病院、北新病院などを経て23年4月なかむら整形外科クリニック院長に就任。股関節、膝専門。骨粗鬆症認定医。運動器リハビリ認定医。伊達市出身。

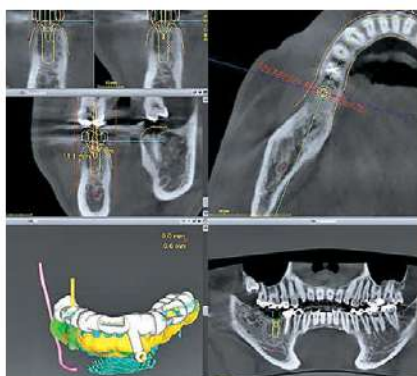
「患者様一人一人に最善の医療を」をモットーに、中村夢志郎院長を中心にスタッフ一同が市民の健康や日常生活を支えている。

診察待ちの負担を軽減させるため、診察券を持つ初診以外の患者を対象に、オンラインと電話による受け付けを開始した。また北新病院（札幌市）とも連携し、上肢専門外来を始めるなど万全な診療態勢を整えている。

**万全な診療態勢で健康サポート
患者一人一人に最善尽くす**

医療法人SUN 福田歯科医院

室蘭市輪西町2丁目8・2 TEL0143-84-6480



福田歯科医院が掲げるポリシーは「真つ当な歯科医院であり続ける」こと。患者と向き合い、治療方針を丁寧に説明。しっかりと話し合いを重ねることで選択の幅を広げて、最適な治療方法を提供している。

地域の子どもから高齢者まで幅広い年代が通院している。子どもにとって歯医者とは「怖い」とのイメージもつきまとうが、初診から治療を行うのではなく、まずは歯医者に慣れることからスタート。

診察室の雰囲気や医師との会話など環境に

患者に有益な歯科医療提供
バリアフリー、最新機器も導入

れていくことで、自然となじみ、診察がスムーズになるという。

院内は完全バリアフリー対応。駐車場から入り口にもスロープを設けて、車いすやベビーカーのまま入ることができる。

口腔内を高解像度でスキャンして、立体的に解析できるT R I O S（トリオス）や、人体への影響が少ないデジタルレントゲン装置など最新の精密機器もそろえ

ている。

スタッフへの「真つ当」も欠かさず、2022年には、若者の雇用・育成で定の基準を満たす「ユースエール企業」に胆振管内で初めて認定された。

福田慎之介院長は「地域に必要とされる歯科医院として、患者さんにも従業員にも真つ当な歯科医院でありたい。患者に有益である歯科医療を提供していく」と力を込める。

◆◆◆ 院長紹介 ◆◆◆



院長 福田 慎之介

北海道大卒。聖路加国際病院歯科口腔外科・麻酔科・救命救急部などを経て、19年8月から現職。20年11月に運営法人・医療法人SUN設立、理事長に就任。室蘭市出身。



なかがわ歯科医院

登別市中央町5丁目22・1 Tel.0143-85-7651

歯を残し健康で 居続けられる生活を

今では現代病と言われ、多くの人が歯を失う原因となる歯周病を専門にしている。保険診療での良質な治療を提供。非常勤で口腔外科・矯正の専門医に手伝ってもらい、口腔内全体の管理を行える体制を敷く。できるだけ歯を抜かないという治療方針だ。

実感させる。治療には、歯茎の環境を整えるためのブラッシング指導や、細菌を取り除く外科的処置をし、歯を守る治療を行っている。西胆振で歯周病専門医は同院のみ。仲川弘誓院長は「両奥歯で食べ物を噛めると転倒防止にもなり、全身の健康につながる。近隣にかかりつけ歯科医院を決め、年に数回の定期的な管理をすることが大切」と勧める。

◆◆院長紹介◆◆



院長 仲川 弘 誓

東日本大学歯学部卒。90年に開院。日本歯周病学会所属。北海道子どもの歯を守る会。北海道医療大学歯学部非常勤講師。歯科医師卒後臨床研修施設指定。新ひだか町出身。

2025 むろみん メディカル ガイドブック



【取材・制作】

株式会社 室蘭民報社

〒051-0015 室蘭市本町1丁目3・16

Tel.0143-22-5121(代)

【配布エリア】

室蘭市・登別市・伊達市

【発行日】

2025年2月28日

【印刷所】

北海印刷 株式会社

〒050-0074 室蘭市中島町4丁目12・15

Tel.0143-43-2121

